

令和3年度事業計画

1. 法人事務局
2. ケアハウスやすらぎの里
3. 大庭デイサービスセンター
4. 在宅療養支援センターあんしん
5. 大庭ヘルパーステーション
6. 太陽の里デイサービスセンター
7. グループホーム太陽の里
8. グループホーム本郷
9. グループホーム東出雲
10. 東出雲デイサービスセンター
11. 松江市生活支援ハウス
12. 住宅型優良老人ホーム太陽の里 管理受託事業

社会福祉法人 敬仁会

【法人事務局】

経営の安定化に向けて

令和2年度は、令和元年度の経営悪化を改善するため、入居系事業所に対しては、早期の満床及び満床の維持、通所系・訪問系事業所に対しては、新規利用者獲得による稼働率増向上を急務として取り組みましたが、現時点において劇的な回復には至っていない状況です。

令和3年度は、経営の改善及び安定した運営を行うために、以下の5点を優先課題として取り組みます。

① 人材確保

介護施設では人材が最も重要な財産である。人件費増加となるが運営を継続していくためには、優秀な人材を獲得する必要がある。

- 1) ハローワーク等の各機関との情報共有及び収集
- 2) 現職員からの職員紹介の推進
- 3) 他福祉施設の情報把握（事業所閉鎖等）

② 認知症対応型通所介護事業所の統合 令和3年5月1日付（予定）

当法人の認知症対応型通所介護事業所（太陽の里デイサービスセンター、東出雲デイサービスセンター）2事業所の統合を行う。

現在、2事業所の稼働率は悪化の状況にあり、市内でも認知症対応型通所介護の需要が減少している状況である。昨年度1年間の中で営業活性化等による改善を図っていたが、新型コロナウイルスの影響もあり、新規獲得が厳しい状況であった。

このまま継続していくことは、法人としてプラスに働くとは考えにくく、統合を行い、安定した稼働率による巻き返しを図る。

③ 高い稼働率

全事業所が前年を上回る稼働率を必須課題として取り組む。

入居部門は、満床維持を図ることで安定した収益を出すことができるため、ケアハウスをはじめ、各グループホームも満床維持を図る必要がある。

通所部門は、定員到達を早期実現していき、収益増加に向けて取り組む。

訪問介護は、職員の稼働増を図り、無駄のない訪問の実施を図る。

居宅介護支援事業所は、各ケアマネジャーの実績に上がらない未利用者の整理及び、法人内への紹介ができるよう各事業所への助言・提案を実施する。

この中でも、通所部門の大庭デイサービスセンターの稼働向上に向けて、最大限取り組むことを最優先課題とする。

④ 徹底した経費削減

水道光熱費を含め、日常にかかる費用についても最大限の削減意識を持って、経費削減に取り組む。費用対効果を見極め、要否の判断基準を厳しく設定し、削減効果が実感できるよう取り組む。

⑤ 予算実績管理の徹底

月次の収支状況について各事業所管理者と法人事務局が共有し、課題の明確化及び改善・解決に取り組む。

◆会議・委員会他◆

名 称	内 容
管理職会議	法人事業運営他
事故防止対策委員会	事故・ヒヤリ等の検証・対策
感染症対策委員会	感染症（食中毒）対策及び感染対策訓練
研修企画委員会	介護技術・接遇・事故防止・感染症・倫理等の職員研修企画
身体的拘束適正化検討委員会	身体行動制限・高齢者虐待
給食委員会	嗜好調査、アンケート等
安全衛生委員会	健康診断・職場環境・メンタルヘルス他
敬仁会祭り実行委員会	祭り企画運営
行事企画委員会	新年会・敬老会・餅つき会他企画
創立 20 周年記念式典	

【ケアハウスやすらぎの里】

① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

② サービス内容と生活の質の向上に向けた取り組み。

- ・家族様へのアンケートの実施。実施後の要望等に対する早期対応。
- ・苦情・相談に対する迅速対応。
- ・1人1人の入居者様への対応に時間が確保できるよう支援に時間を要す認知症高齢者の各グループホームへの転居に向けた取り組みを実施（適した施設への転居）。

③ 職員の質の向上、離職防止に向けた取り組み

- ・毎月の勉強会にて学ぶ機会の確保。
- ・外部研修への積極的参加、復命研修の実施の義務付け。
- ・職員目安箱（意見提案箱）の設置、意見等への随時返答並びに改善を図る。
- ・業務体系の見直しを常に意識して、職員への負担の分散化を図る。

【大庭デイサービスセンター】

① 数値目標

- ・介護：月 548名（1日平均21名）
 - 総合事業：月 68名（1日平均 2名）
 - 緩和型：月 8名（1日平均 1名） 合計：月 624名（1日平均24名）
- ※現在、定員35名/日に対し、登録数26名/日平均であるところを今後、定員35名/日に対し、登録数35名/日を目標とする

② 自事業所のアピール

- ・定期的に他事業所の情報収集を行い、自事業所が選ばれる事業所となるようアピールポイントの発掘に貪欲になり取り組む。
- ・法人の居宅支援事業所との密な連携を図り、自事業所に足りない部分の把握に努め、営業活動に活かす。

③ サービスの向上

稼働向上に伴い、職員1名当りの利用者数が増加すると予測できるため、職員個々のスキルアップが急務である

- ・職員による支援差を無くし、支援の共通化を図るため、マニュアルの再構築を図る。
- ・利用者様及び家族様へのアンケートを継続実施し、結果の公表並びに改善提案や要望に対しては即時対応に努め、信頼を獲得します。
- ・事業所内勉強会の毎月開催、外部研修への積極的参加。

【在宅療養支援センターあんしん】

① 数値目標

- ・要支援、事業対象者 30名/月 (29名…2月請求件数)
- ・要介護 1～2 72名/月 (59名…2月請求件数)
- ・要介護 3～5 33名/月 (39名…2月請求件数)
- ・月新規契約目標 2件/月

② 向上計画

- ・各包括支援センターや医療機関への定期的な訪問や電話連絡を行い、継続した連携強化を図る。
- ・毎週のミーティングを継続し、必要事項の周知、困難事例等の対応についても学ぶ機会として取り組む。
- ・法人の事業所という認識を強く持ち、法人事業所の稼働向上のために尽力する。併せて、当法人の事業所に対し情報提供や助言を密に行う。
- ・各種研修会や法人内研修等に積極的に参加し、最新の情報の収集を図る。

【大庭ヘルパーステーション】

① 数値目標

- ・要介護利用者 26名 (令和3年2月利用者 24名)
- ・要支援利用者 35名 (令和3年2月利用者 33名)
- ・障がい利用者 13名 (令和3年2月利用者 11名)

・訪問時間目標

職員個々の稼働可能時間の80%を訪問時間目標とする

② サービス向上

- ・サービス提供責任者を中心に、利用者様に対し適切かつ同一の支援が実施できるよう定期的に支援マニュアル等の見直しを図る。
- ・担当者会議に参加する際には、事前に事業所内で情報共有を図り、きちんとした内容を即時伝えられるように努め、訪問介護事業所としての責務を果たす。
- ・利用者様の変化に対し、一番身近で把握できることを活かし、各事業所や各居宅支援事業所等との連絡・連携・報告・相談を徹底し、解決を図っていく。

【太陽の里デイサービスセンター】

① 統合に向けて

- ・利用者様、ご家族様に対し、適切な情報発信を行いスムーズな移行に努める。
- ・各居宅支援事業所に対し、移行に伴う弊害について説明、理解を得るよう努める。
- ・統合に向けて利用者様が動揺する事が無いように努める。
- ・統合先（東出雲デイサービスセンター）職員との連携を図り、職員関係の構築に努める。

【グループホーム太陽の里】

① 数値目標

- ・ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

② サービス向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指す。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図る。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努める。

③ 地域交流

- ・運営推進会議、太陽の里夏祭りなどの開催を通して、近隣の方との交流を図る。
- ・住宅型老人ホーム太陽の里の方々との交流を図る。
- ・地域向けの新聞等を発刊し、地域の方々への情報発信に努める。

【グループホーム本郷】

① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

② サービス向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指す。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図る。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努める。

③ 地域交流

- ・季刊誌「本郷かわら版」を年6回発行、地域配布の継続。
- ・運営推進会議に1人でも多くのご家族様や地域の方にご参加いただき、グループホーム運営に反映していけるよう努める。
- ・「本郷夏祭り」の継続開催。

【グループホーム東出雲】

① 数値目標

- ・ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

② サービスの向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指す。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図る。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努める。

③ 地域交流

- ・運営推進会議において、地域住民に参加していただけるよう働きかけを行う。
- ・「いっなん祭」の継続開催。
- ・近隣保育園との交流継続。
- ・地域向けの便りを新しく発行し、地域に向け発信の機会を設ける。

【東出雲デイサービスセンター】

① 統合に向けて

- ・利用者様、ご家族様に対し適切な情報発信を行いスムーズな移行に努める。
- ・各居宅支援事業所に対し、移行に伴う弊害について説明、理解を得るよう努める。
- ・統合に向けて利用者様が動揺する事が無いよう努める。
- ・統合先（太陽の里デイサービスセンター）職員との連携を図り、職員関係の構築に努める

② 数値目標

- ・利用者（統合後） 1日平均 10名
1月平均 259名

まず、平均10名以上の利用者様の利用を継続する事が必須課題である。

- ・新規利用者獲得を図り、登録数は常時12名を目標とする。
- ・統合した互いの事業所のスキルを持ち寄り、東出雲デイサービスならではのアピールポイントを作り出し、居宅支援事業所に対し営業活動を継続、活性化を図る。

③ サービス向上

- ・統合した各事業所の利用者様の情報共有を行い、対応の統一を図る。
- ・統合後、ご家族様向けのアンケートを実施し、問題点について早期改善を図り、利用者様及びご家族様の満足度向上に努める。
- ・認知症専門知識を身につけるため、「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」への受講を行う。
- ・困難事例の方へ対応できるように毎月の勉強会や外部研修への積極的参加を図る。

【松江市生活支援ハウス】

① 関係機関との連携

- ・引き続き入居者様の日常生活機能の変化を観察し、変化を感じた場合は早急に行政担当者及び担当介護支援専門員等に連絡を取り、連携して入居者様が安心して生活できるよう支援します。

② サービスの向上

- ・入居者様とのコミュニケーションをしっかりと図り、困ったときなどに安心して、相談できる関係を築いていきます。
- ・外出行事や季節イベントの回数をもう少し増やし、入居者様の生活が孤独な生活にならないよう支援します。

【住宅型有料老人ホーム太陽の里 管理受託事業】

① 関係機関との連携

- ・長期の入居者が多く、年々高齢化しているのでご家族様、担当の介護支援専門員及びサービス事業者等と緊密に連携し、諸問題の早期解決を図り、安心して生活できるよう支援します。
- ・稼働率を向上、維持するため入居待機者を確保する。そのために地域包括支援センター及び医療機関相談室等へ定期的に情報を発信し連携を図ります。

② サービスの向上

- ・毎日の安否確認時等を活用し、入居者様の状況確認をするとともに困りごとや不安を解消できるよう話を聞くよう努めます。
- ・季節に応じた外出行事及び定期的なイベントを企画する。併せて敬仁会主催のイベントに参加するなどして交流を深め、日々の充実した生活を支援します。

※各事業所の地域貢献等の内容につきましては、新型コロナウイルスの今後の感染状況によって、可能な形での開催等に努めます。

【事業所別年間行事計画】

	法人	ケアハウス	大庭デイサービス	グループホーム太陽の里
4月		お花見外出	お花見喫茶 お花見外出	お花見・花苗植え
5月	監事監査 第三者委員会	春の遠足	鯉のぼり外出	お花見・野菜苗植え
6月	理事会 定時評議員会	笹巻作り	お菓子作り	笹巻作り
7月		七夕茶会	七夕会	七夕会・そうめん流し
8月	理事会	夏のデザート会	夏祭り	夏祭り・夏祭り週間
9月		敬老会	合同運動会・敬老会	敬老会
10月		敬仁会祭り	お菓子作り 敬仁会祭り	芋掘り・お菓子作り・ 敬仁会祭り
11月	理事会	紅葉ドライブ	紅葉ドライブ	紅葉外出
12月		クリスマス会	クリスマス会 餅つき・忘年会	クリスマス会・忘年 会・餅つき
1月		初詣外出・新年会	初詣外出・新年会	初詣・書初め・新年会
2月		節分 豆まき	節分祭	節分会
3月	理事会 臨時評議員会	ひな祭り茶会	ひな祭り	ひな祭り会

	グループホーム本郷	グループホーム東出雲	東出雲デイサービス
4月	花見外出 花・野菜苗植え	花見外出	花見外出
5月	八雲こいのぼり見学	こいのぼり外出	こいのぼり外出
6月	笹巻作り、足湯外出	笹巻き	笹巻き
7月	本郷夏祭り 天神さん祭り	七夕会	七夕会
8月	水郷祭、すいか割り	納涼会	季節行事
9月	敬老会 (保育園児との交流会)	いうなん祭	いうなん祭・敬老会
10月	敬仁会祭り	保育園交流行事 敬仁会祭り	敬仁会祭り
11月	ぶどう狩り、紅葉外出	紅葉外出	紅葉外出
12月	クリスマス会&家族 会、お餅つき	クリスマス会	クリスマス会
1月	初詣、新年会	お屠蘇会・初詣	初詣外出
2月	節分祭	節分祭	節分祭
3月	ひな祭り会、家族会	ひな祭り	ひな祭り

現在、コロナ禍で計画通り実施できないことも予測されますが、入居者様及び利用者様が少しでも楽しめるよう工夫した上で随時対応を心がけます。

【事業所別年間研修計画】

	ケアハウス	大庭デイサービス	あんしん	
			内部研修	外部研修
4月	介護の基本	薬	法令遵守	ブロック連絡会
5月	緊急時対応	介護保険改正の要点	職業倫理	松江市事例検討会
6月	食中毒予防	熱中症予防	感染症 リスクマネジメント	ブロック連絡会 気づきの事例検討会
7月	高齢者虐待防止	交通安全	アセスメント事例検討	松江市事例検討会
8月	認知症	介護技術	接遇、自己評価	ブロック連絡会 気づきの事例検討会
9月	チームケア	事故防止対策	虐待（事例検討）	松江市事例検討会
10月	歩行支援（リハビリ）	虐待・身体拘束	サービス担当者会議	ブロック連絡会 気づきの事例検討会
11月	感染症予防・対策	外部講師に依頼し実施	モニタリング事例検討	松江市事例検討会 事業間研修
12月	認知症2	接遇	感染症	ブロック連絡会、大庭地区連絡会議、気づきの事例検討会
1月	接遇	感染症	認知症ケアマネジメント事例検討	松江市事例検討会
2月	事故予防・対策	個人情報	医療連携	ブロック連絡会 松江市ケアマネ研修会
3月	まとめ（振り返り）	1年の振り返り	振り返り、次年度に向けての課題検討	松江市事例検討会

	大庭ヘルパー	太陽の里事業所	グループホーム本郷	東出雲事業所
4月	接遇・職業倫理	理念・接遇	事業所理念	事業所理解
5月	個人情報保護 法令遵守	認知症ケア （定義・疾患）	記録	水害対策研修
6月	身体拘束・虐待防止	熱中症 食中毒予防対策	熱中症・脱水のリスクマネジメント	食中毒
7月	感染症予防	認知症の方のご家族への支援方法	食中毒	●認知症症状別対応
8月	熱中症予防	事故防止対策	緊急時対応 心肺蘇生法とAED	●認知症症状別対応
9月	事故防止	防災・救命講習	防災	介護技術
10月	接遇	感染症	感染症	事故防止
11月	認知症	認知症ケア （事例検討）	事故防止対策	●認知症症状別対応
12月	障がい者のサービス	リスクマネジメント	身体拘束	感染症
1月	記録	虐待・身体拘束防止	看取り	●認知症症状別対応
2月	介護技術	認知症ケア （事例検討）	高齢者に多い病気と対策・対応	●認知症症状別対応
3月	緊急時の対応	介護技術	認知症ケア、事例から考える	一年間を振り返って

各事業所年間計画に沿って計画的に研修を実施し、自己研鑽に努め適切なサービス提供が実施できるよう取り組みます。